

大田市立病院 〒694-0063 大田市大田町吉永 1428 番地 3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。

大田市立病院



<http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp>

大田市立病院ロゴマーク決定

昨年 10～12 月にかけて、平成 29 年開院予定の新病院づくりを進めるにあたってロゴマークを募集したところ、全国から 643 点もの応募がありました。

地域医療の中核病院として、また住民の皆様にも愛され、信頼される新病院のマークとして、どれが一番ふさわしい作品か……。全職員による投票形式の 1 次審査で 16 点に絞られ、選考委員による厳正な 2 次審査および幹部職員による最終審査により、大阪府のマカロンさん（ペンネーム）の作品に決定となりました。



大田市立病院



管理棟 2 階廊下の壁一面に展示された応募作品を審査する職員



2 月 20 日に開催された開院 15 周年記念式典で披露されました

この新ロゴマークを旗印に、職員一丸となって新しい病院づくりに向けて励んでいきたいと思ひます。

ロゴマークについて

大田市立病院の頭文字の「大」をモチーフにし、救急医療や地域医療の責務と役割を担い、住民の命と健康を守るため、日々精力的に活動する病院の姿が描かれています。また、健康を取り戻した地域住民のいきいきした姿もイメージされています。

作成者 マカロンさん（大阪府在住）

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5 疾病 5 事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。



看護部長室紹介



看護部長 木村留美子

2階のペインクリニック（麻酔科）と第1会議室の間に部屋があります。皆様気軽に訪問してください。新病院に向けて、さらに10年、20年先を見据えて少しずつ改善に取り組んでいます。また、午前中、時間は不定ですが、部署ラウンドをしています。私を見かけられましたら色々と思いを言ってください。

副看護部長 川上逸子

「すべての職員が仕事と生活を両立させ、生き生きと働くことができる」を目標に、WLB（ワーク・ライフ・バランス）に取り組み約10ヶ月が過ぎようとしています。「WLBって何？」からスタートしましたが、たくさんの方の協力で、様々な取り組みを行うことができ、一步一步前に進んでいます。

副看護部長 田中希代子

看護師国家試験が終わり、合格発表をドキドキしながら待っています。4月に入られる新人を迎える準備にとりかかっています。そして毎年、新人看護師たちは立派に育っています。みなさんのおかげです。



とってもパワフルです！
これからも病院を盛り上げて下さいね！！



看護業務推進アドバイザー

横木礼子

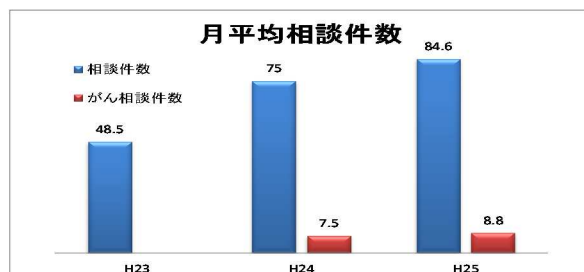
昨年4月から看護部の皆さまと一緒に、看護の教育・業務などを検討しています。

木村看護部長の素晴らしいリーダーシップのもと、今までの看護部の歴史に少しずつ新しい風が吹いているように感じています。

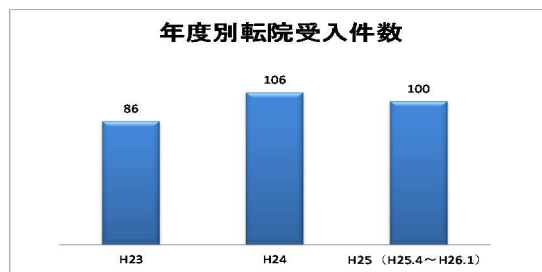
地域医療連携室のしごと

部署紹介 地域医療連携室

看護師2名、相談員2名の4名体制で、患者さまやご家族からの様々な相談に対応しています。主に入院患者さまの円滑な退院に向けたお手伝いや、他病院からの転院受入の調整を行っています。



その他にも、次のような取り組みを行っています。



地域連携連絡会

地域医療支援部長、看護部、事務部、リハビリテーションセンター、訪問看護ステーション、地域医療連携室の職員が2ヶ月に一度集まり情報交換することによって、地域の問題点や現状分析を行っています。地域のニーズに応えるため、自分たちのすべきことは何かを前向きに考える会議です。

地域包括ケアを進めていくために、地域を知り、顔の見える関係を作り、大田市の医療・介護・保健福祉がスムーズに連携できるよう取り組んでいきたいと思ひます。院内で興味のある方は、ぜひご参加ください。

回復期リハビリテーション病棟開設に向けて

平成29年度開院の新病院では、回復期リハビリテーション病棟を開設します。その準備として26年度から療養病棟でシミュレーションを始めます。

回復期リハ病棟は、入院～退院まで支援を行う院内での役割と、退院後の生活支援へとつなげる地域での役割という両面を担っています。院内スタッフには、患者さまの紹介と他院からの紹介患者の受入に協力をお願いします。

「この人に」、「この大田地域に」何が必要かを考え続け、回復期リハ病棟の充実を図っていきます。

（地域医療連携室：田中 成子・三浦 政子）



第 38 回石東駅伝競走大会に出場しました

3 月 2 日に開催された第 38 回石東駅伝競走大会に出場しました。大田市役所から大森銀山までの起伏に富んだ往復 20.6 km を、6 人でたすきをつなぎます。

タイムは 1 時間 25 分 44 秒で、参加 12 チーム（市内）中、9 位の成績でした。

休日にもかかわらず、沿道より多数のご声援をいただき、ありがとうございました。

いつかは 6 位入賞の結果報告ができると思います。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



佐藤 PT へたすきをつなぐ筆者



GAMBA 大田市立病院 チーム



2011 年より上記のチーム名で石東駅伝大会に出場しています。

2011 年	1 時間 25 分 33 秒	11 位
2012 年	1 時間 27 分 11 秒	9 位
2013 年	1 時間 28 分 05 秒	12 位

（放射線科：岡田 成人）



エネルギー：101Kcal
たんぱく質：4.3g
塩 分：0.9g

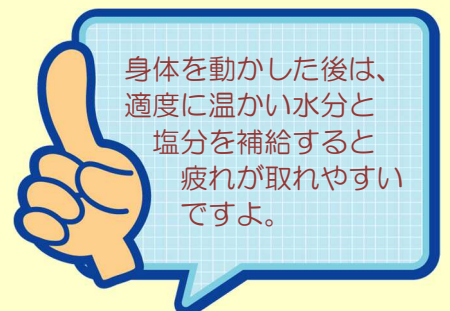
■作り方■

- ①大根、人参は一口大の乱切りにする。しいたけは軸を取って半分にし、玉葱は厚さ 2cm ほどに切る。
＊ 油揚げは食べやすい大きさ切り、ウインナーは隠し包丁を入れておくと旨味が増します。
- ②調味液 A を混ぜ合わせ、①を加え軟らかくなるまで煮込みます。
- ③最後に塩、こしょう少量で味を整えれば完成です。

■材料(1 人前)■

材料	分量
大根	30g
人参	30g
玉葱	20g
しいたけ	10g
ウインナー	15g(1 本)
油揚げ	5g

調味液 A	分量
だし汁	150g
酒	小さじ 1/4
醤油	小さじ 1
みりん	小さじ 1/2



身体を動かした後は、適度に温かい水分と塩分を補給すると疲れが取れやすいですよ。

（栄養管理：大菅 康平）

検査のおはなし vol.2

尿検査って簡単にできていいですね。そんな **尿検査** にもちょっと **注意** が必要です。

ビタミンC を 1000 mg 経口摂取すると 3～4 時間後の尿に 100 mg /dl 以上排泄されると言われています。この排泄されたビタミンCの還元作用によって尿糖、尿潜血が偽陰性(本当は陽性なのに陰性に結果がでてしまうこと)を示してしまうことがあります。ビタミンCは様々な飲食物に含まれています。また、酸化防止剤として清涼飲料水などにも添加されています。



検査前は、ビタミンCを多く含む栄養ドリンクやサプリメントの摂取を控えましょう。

外来診療一覧

平成 26 年 4 月 1 日現在

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

診療科		月	火	水	木	金
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●		
	消化器科	●	●		●	
	循環器科			○		○
	メンタルヘルス科		○			
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●		●	●	●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●		
	整形外科	● ※1		● ※1		● ※1
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	● ※2	●			●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
	眼科			● ※3		● ※3
専門外来	耳鼻咽喉科	● ※4		● ※5	●	
	総合診療科		●			
	リウマチ外来		○		○	
	腎臓内科	● ※6				
	ペースメーカー外来					○
	小児神経外来				○	
	小児心臓外来		○			
	乳児健診		○			
	予防接種					○
	腫瘍外来			○		
	緩和ケア				○	

【受付時間】 **8:30～11:00** (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 予約券をお持ちの方は8:30～15:30 初診の受付を制限する場合があります
- ※2 第1・3週は午後の診療もあります。午後の受付は13:15～15:00
- ※3 初めて受診される方は8:30～10:30
- ※4 診療は第3週のみとなります
- ※5 初めて受診される方は13:45～15:30、予約券をお持ちの方は13:45～16:00
- ※6 13:00～16:00

編集後記

ある小型スーパーでおばあさんに「私は目が見えませんがこの番号でタクシーに電話してもらえませんか」と呼び止められました。近くの公衆電話でダイヤルしたものの、さてこのおばあさんの事を何と伝えればわかってもらえるのか…と思いあぐねていたら「ああ〇〇のおばあさんね、はいはい、わかったわかった」とあっさり電話を切れ、拍子抜けしました。なんとなくお店の人も知らないふりをしてこちらを見ているような…あら、もしかして知らないのは私だけ？ 夕方の忙しい時間なのでお店の人でなく私に頼んだのかなあ～？ とヒーロー？になり損ねた自分に苦笑しましたが、何だが一瞬さわやかな風に吹かれたような気分になりました。

風通しを良くする、なんてそもそも人間一人ではあり得ないことで、人と人がいかに良く関わっていくか、それぞれが思い合って初めて風がうまれるのだと思います。

大田市立病院に風通し良く、新しいさわやかな風が吹くよう願いを込めて、銀の風の刊行が始まりました。内容は病院内での行事だけでなく、病院に関わっているスタッフが日常生活の中で見つけたほのぼのする一コマや風景、日常思ったことなど、さまざまな思いを投稿できる場になれば良いなあと思います。

(編集委員 I)

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永 1428-3

TEL 0854-82-0330

FAX 0854-84-7749